

(参考)これまでの青年経営者等による先進的な事業取組に対する顕彰事業・受賞事業者について

平成24年度受賞者（5者）

申請協会	受賞者名	事業の種類	事業の概要
北海道	丸吉運輸機工株式会社	収益性向上・ 安全対策・ 環境対策・ 社会貢献	運輸業者が自ら持っている「財産」＝（ドライバー・トラック）を最大限に活かしながら、小学校等で子供たちに「楽しみながら運輸業界に興味を持ってもらいたい」との想いを込め、様々な学習プログラムを実施。 ①運輸業界を子供たちの「憧れの業界」にすること ②トラックドライバーという仕事を「将来なりたい職業No.1」にすること ③子供たちの絵で会社の壁を一杯にし「交通事故撲滅」の社風を創り上げること を目的に体験型授業を行った。
栃木県	株式会社サンコー	安全対策	ウイング車及び平ボディ車の荷台作業中による地面への転落を防止する為の特製ベルトの開発・設置事業を実施。運輸業の労働災害事故撲滅に向けた取り組み、安全な作業を実施・PRすることで、荷主やお客様に安心して頂き信頼を得るビジネスモデルを構築。
東京都	彦新運輸株式会社	収益性向上	輸送品質向上、収益性の向上を目的に、ポリスチレン発泡剤によるトラック荷台のフロアシステム（TCDS）を独自開発。軽量・清潔・強度高な製品であるため、荷台床材のライフサイクル長期化によるコスト削減、最大積載量増加による輸送効率・実車率の向上等の効果を得ている。
東京都	川崎陸送株式会社	収益性向上・ 環境対策	「トラック受付システム」と「予約システム」を自社開発。倉庫入出庫業務のさらなる円滑化、およびトラック待機時間の大幅短縮効果を得ている。
徳島県	新居建設運輸株式会社	収益性向上・ 環境対策	納品用ダンボールの再利用や荷主業務の積極的な受入等を行い、物流効率化と環境対策を実施。 これまで荷主が複数の倉庫に保管していた商品を、自社（運送会社）の倉庫にメーカーから一括直納させ、荷主が行っていた荷受→入出庫→保管→検品→ピッキング→梱包→送り状発行→出荷→在庫報告書までを引き受け、物流効率化を図る。 さらに、出荷についても自社トラックで対応することとしたため、空ダンボールの回収→再利用ができ環境負荷軽減効果を生んでいる。

平成25年度受賞者（2者）

申請協会	受賞者名	事業の種類	事業の概要
秋田県	公益社団法人秋田県トラック協会青年部会	社会貢献	県内小学校（5年生時）の社会科の授業へ全面的に協力。カリキュラム『物流』の授業時に、部会員が車両とともに小学校を訪問し、自らが授業を行う活動を実施。（平成11年から現在まで159校で実施） これまでの交通安全教室とは異なる視点で、業界の重要性や仕事そのものに重きを置き、専門家でなければ知り得ない内容の授業を行うことで、業界への理解向上に努め「トラック＝怖い」のイメージを払拭し、将来業界を目指してもらうことを目的とした活動を行う。 「しごと紹介」的な役割として学校・自治体から評価を得ているとともに、部会員の教育スキル向上にも役立っている。
愛媛県	道前運送株式会社	その他（従業員教育）	『全社員の成長と幸福の実現』を主眼においた社員教育カリキュラムの確立。他社との差別化を図るため「運送業＝サービス業＝人づくり」を主眼に置いた、顧客満足・安全運転・経費削減のためにすべきことを具体的に記載した「社員心得」等を作成し、全社員に対して徹底した教育と定期的な勉強会を実施。 燃費向上、事故減少に効果が得られたのみではなく、意識の向上、顧客満足度向上、クレームゼロ、その他従業員資質にも大きな向上が見られ、一連の教育取組みに対して、業界紙等でも幅広く取り上げられた。

平成26年度受賞者（対象者なし）

平成27年度受賞者（2者）

申請協会	受賞者名	事業の種類	事業の概要
青森県	丸憲運輸有限会社	収益性向上	ウイング車用原木輸送システムの“しくみ”を開発し、特殊車両が必要な原木輸送をウイング車を活用して行うことで往復積載輸送を可能とした。トラックの効率的な運用により、収益性向上と環境負荷の軽減、ドライバーの拘束負担の軽減、林業荷主の販路拡大、新たな荷物の獲得等の効果が得られた。
東京都	株式会社藤倉運輸	社会貢献	AED（自動体外式除細動器）搭載事業用トラックを導入し、救急救命受講ドライバーを乗務させることにより、緊急時に蘇生開始までの時間を短縮させ、生存率を高めることを可能とした。さらにトラックにAED搭載ステッカーを掲示することで通行者の目にも触れやすくした。

平成28年度受賞者（金賞1者、銀賞1者、銅賞3者）

受賞区分	申請協会	受賞者名	事業の種類	事業の概要
金賞 (100万円)	東京都	一般社団法人 東京都トラック協会 足立支部青年部	安全対策	【事業名称】 足立式ドライバーコンテスト 【事業内容】 ドライブレコーダー画像とGセンサー解析ソフトによるドライバーコンテストを行うことで、ドライバーの安全運転教育と共に、事業用ドライバーとしての誇りと自信を持った真のプロドライバー育成を行っている。
銀賞 (70万円)	群馬県	一般社団法人 群馬県トラック協会 青年部会	安全対策	【事業名称】 危険箇所・休憩場所等情報提供事業 「トラマップ群馬」 【事業内容】 各社に蓄積された危険箇所等の情報をインターネットで公開し、ドライバーの危険に対する認識を向上させている。また、ドライバーが休憩する際に利用できる道の駅等のトラック車両の駐車スペース情報を公開し、違法な連続運転の抑止に繋げている。
銅賞 (50万円)	石川県	一般社団法人 石川県トラック協会 青年部会	社会貢献・ その他（業 界の地位向 上）	【事業名称】 加賀飛脚再現事業 【事業内容】 石川県の伝統文化である「加賀飛脚」を学び、再現することにより、運送事業の責任と誇りを再認識するとともに、各種メディアを活用し、運送業界のPRに努めた。併せて石川県の伝統行事に協賛することにより地域貢献を図っている。
銅賞 (50万円)	宮城県	有限会社山藤運輸	収益性向上 ・ 安全対策・ 環境対策・ 社会貢献・ その他（雇 用対策、子 供たちへの 環境教育と 物流教育）	【事業名称】 『地域密着の運ぶ』を軸としたバイオマス関連事業 【事業内容】 南三陸町が運営するバイオガス施設に係るインプット（余剰汚泥運搬）、アウトプット（液体肥料の運搬）、液体肥料の撒布事業を行っている。さらにバイオガス事業や地域の運送事業の内容を地元幼稚園、小中学校で環境・物流授業として実施している。
銅賞 (50万円)	東京都	川崎陸送株式会社	収益性向上 ・ 環境対策	【事業名称】 ドライバーの待ち時間を解消する為の「予約システム」の導入 【事業内容】 ドライバーに同システムで到着時間帯を予約してもらい、予約に従い、倉庫側が受入準備をして手待ち時間の削減、トラックの回転率向上を進めている。

平成29年度受賞者（金賞1者、銀賞1者）

受賞区分	申請協会	受賞者名	事業の種類	事業の概要
金賞 (100万円)	広島県	広島県トラック協会 青年部協議会	社会貢献	<p>【事業名称】 「こども運送」による人材確保事業</p> <p>【事業内容】 将来のトラック運送業界の担い手である「こども」に焦点をおき、毎年10月に開催する「ひろしまトラックまつり」において、点呼や日常点検、配送業務など実際の業務に近い内容を体験してもらうことで、将来の職業選択のひとつとして認識してもらっている。さらに、物流の重要性を親子で認識してもらっている。</p>
銀賞 (70万円)	滋賀県	滋賀県トラック 青年協議会	社会貢献	<p>【事業名称】 異業種交流と物流業界のPR</p> <p>【事業内容】 毎年秋に開催する「びわこフェスタ」（滋賀県中小企業青年中央会主催／他業種組合多数参加）において、メインステージ用にウィング車を提供しているほか、一般参加者向けに冷蔵冷凍車を使用したひんやり体験、トレーラヘッドによる死角体験等を行い、トラック運送業界に対する理解、促進を図っている。さらに会場に募金箱を設置し、交通遺児に対するチャリティ募金を行っている。</p>

平成30年度受賞者（金賞1者、銀賞1者）

受賞区分	申請協会	受賞者名	事業の種類	事業の概要
銀賞 (70万円)	福井県	一般社団法人 福井県トラック協会 青年部会	社会貢献	<p>【事業名称】夢ある業界PR 新卒者採用活動</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【高校生向け人材確保事業】 高校性向けPRイベント「物流体験！オープンカンパニー」を2017年度、2018年度の2回開催、高校生にトラックの役割や業界の魅力を説明。さらに運送会社の見学を行った。</li> <li>・【トラック運送業界イメージアップ事業】 トラックの日のイベント（トラックフェスタ）にて、若手・女性ドライバーのお仕事紹介を開催。2016年度は「トラボーイ美男子コンテスト」と称し、PR。2017年度年度は「自慢のトラガール紹介」と称してそれぞれPRを行った。</li> </ul>

令和元年度受賞者（金賞1者、銀賞1者）

受賞区分	申請協会	受賞者名	事業の種類	事業の概要
銀賞 (70万円)	兵庫県	石見サービス株式会社	収益性向上	<p>【事業名称】 運び方改革でガッチリ！</p> <p>【事業目的・内容】 同社が行う危険物取扱事業マーケットでは今後「小口化」「高付加価値化」が更に進むほか、危険物取扱規制が厳しくなる。従来小口配送を依頼していた大手路線事業者は人材不足等で危険物輸送を敬遠することが予想される。今後「運べる倉庫業者、預かれる運送事業者」が連携し、中継配送を駆使することで、事業に関わる全ての事業者の利益向上を目指す。また、中継配送による物流の合理化により、働き方改革や運行管理等のコンプライアンス遵守を徹底するなどの労働環境整備を行い、働きやすい職場づくりを実現。</p>
銅賞 (50万円)	東京都	一般社団法人 東京都トラック協会 多摩支部青年部	その他 (人材不足 対策)	<p>【事業名称】 物流業界説明・面接会ほか</p> <p>【事業目的・内容】 人手不足・高齢化・若者に敬遠されるなどの物流業界が抱える問題点を踏まえ、物流業界説明・面接会を開催し、求職者へアピール。 社会にとって重要な産業であることをPRするため、学校、ハローワーク、進路指導教員等へ講演を実施。 学習塾や自動車教習所と連携し、物流業界専門の職業訓練校の設置を検討。免許、安全運転技能、ビジネスマナー等の習得を目指す。</p>

令和2年度受賞者（銀賞1者、銅賞1者）

受賞区分	申請協会	受賞者名	事業の種類	事業の概要
銀賞 (70万円)	栃木県	蔵の街運送株式会社	社会貢献	<p>【事業名称】 社員の健康を守る！社員食堂「蔵LOVE」オープン！ ～「蔵LOVE」の設立により、障がいを持った方の「働きたい」を応援します～</p> <p>【事業目的・内容】 障がい者の働く場の提供と社員食堂の運営の両立。日替わりワンコイン食堂の運営を通じて、社員に栄養価が高く、バランスの良い食事を提供することで、社員の健康を守り、健康起因事故ゼロを目指す。 障がいを持たれた方が社食づくりを通して働くことの楽しさ・やりがいを見つけてもらう。</p>
銅賞 (50万円)	徳島県	大輪総合運輸株式会社	安全対策	<p>【事業名称】 運転支援AIシステム</p> <p>【事業目的・内容】 大型トラック起因の交通事故を0にし、死傷者を減らす。事故がなくなることで、ドライバー、家族、所属会社を守る。 大型トラックの衝突・左折巻き込み事故を防ぐため、多くの車種に後付けができ、前方と左側が1つのシステムでカバーできる装置を開発。 トラックの死角となる部分について、AI画像認識技術を活用し、ドライバーに音と映像で知らせるもの。</p>

令和3年度受賞者（金賞1者、銅賞1者）

受賞区分	申請協会	受賞者名	事業の種類	事業の概要
金賞 (100万円)	青森県	丸憲運輸有限公司	収益性向上 ・ 安全対策・ その他（担 い手不足解 消）	<p>【事業名称】 木材チップ運搬車用荷台屋根自動開閉装置の開発</p> <p>【事業目的・内容】 大型チップ車へのチップ積込作業は、荷台屋根上へ登らなければならないため、危険で時間もかかる作業であった。 ドライバーの安全性と作業性を向上させることを目的に、車軸横のスイッチで屋根に登らずに電動で荷台屋根シートの開閉を行うことができる装置を自社で開発した。</p>
銅賞 (50万円)	愛媛県	高瀬ロジスティクス株式会社	その他 (人材不足 対策)	<p>【事業名称】 運送業の認知度向上と将来のなり手を増やすためのPR事業</p> <p>【事業目的・内容】 地域の子供から大人までを対象にイベントを開催し、日々の取り組みやその意図を理解してもらうことで、現在、将来の人材の確保や安全教育につなげることを目指す。また、社員やその家族との交流の機会や親睦を深めることで理解や絆も深まり、チームワークの向上、辞めにくく孤立しない職場づくりを目指す。 従来の求人募集だけでは問題の解消は難しいため、日頃より「大型トラック・トレーラーの架装・新車の導入」、「疲労改善対策で導入した社内設備や車載設備の導入」、「YouTubeやSNSで日々の取り組みや運送業をアピールする配信」などに力を入れ、イベントでも紹介している。</p>

令和4年度受賞者（金賞1者、銀賞1者、銅賞1者）

受賞区分	申請協会	受賞者名	事業の種類	事業の概要
金賞 (100万円)	愛知県	柘運送株式会社	社会貢献事業、収益性向上事業、安全対策事業	<p>【事業名称】 思いやり運転とYouTubeで事故撲滅</p> <p>【事業目的・内容】 安全はトラック運送業における重要課題であるが、見える化が難しく、顧客やドライバーのご家族にPRすることがなかなかできない。 そこで、他車に前を譲る、歩行者等の交通弱者を優先させるなどの「思いやり運転」を実施することにより、危険発見の遅れ・見落としによる事故を防止する。あわせて、ドライブレコーダーから思いやり運転の動画を収集し、社内教育に用いることにより、全員が楽しんで気分良く参加しながら、交通社会の模範となる運転を目指すとともに、動画をYouTubeに投稿することにより、顧客や採用応募者へのPRを行う。</p>
銀賞 (70万円)	秋田県	公益社団法人 秋田県トラック協会 青年部会	その他 (SDGs活動)	<p>【事業名称】 物流ふれ合い教室</p> <p>【事業目的・内容】 SDGsの到達目標には「④質の高い教育をみんなに」「⑩人や国の不平等をなくそう」が掲げられている。県内特別支援学校小学部を部会員が訪問し、トラック輸送の役割やトラックと地域の関係性を児童に教えるとともに、トラックの乗車や部会員・マスコットキャラクター「とらっくん」との交流を実施。これにより、児童に対しては、楽しく学ぶことによる学習意欲の向上、外の世界に目を向けることによる社会意識・就労意識の向上、トラックの実車の見学・乗車による交通安全意識の醸成を図る。部会員に対しては、障害のある方についての理解を促進する。学校に対しては、児童の新しい一面を発見し、可能性を発掘する機会を提供する。</p>
銅賞 (50万円)	東京都	株式会社彦新	安全対策事業	<p>【事業名称】 彦新DX 健康運転サポート</p> <p>【事業目的・内容】 健康起因事故の主たる原因である生活習慣病を予防するためには、病気になってからの対応では遅く、日々の健康な生活習慣の継続が必要である。 そこで、DX企業との協業により、以下の内容の「最先端の健康経営と安全活動」(HIKOSHIN DX)を実施する。①ドライバーの心拍・睡眠等の体調に関するデータの見える化、生活習慣に関する知識や改善に関する動画の提供、改善習慣実施状況の管理・継続の促進。②トラックの加速度センサー・GPSによる走行データの見える化、走行データと体調に関するデータを掛け合わせることによる、危険運転の検知。 ランキングやアプリ上の投稿機能を使用し、ドライバーが取組を楽しみながら継続実施できるようにする。</p>